

# 依然として県内20市で1番高い介護保険料

## 今回の改定で値上げが450人も

注目の上越市介護保険条例の一部改正案が9日の厚生常任委員会で審議されました。全国では3番目に高いとされてきた上越市の介護保険料ですが、第6期介護保険基準額はこれまでよりも167円低い月額6358円が提案されました。

改定後の個々の介護保険料ですが、階層としては一番低い第1段階で、第5期よりも引き上げられる人たちがいます。「引き上げられることになるのはどれくらいの人たちか」と質問したところ、約450人にも上ることが明らかになりました。全国的な順位は下がりますが、新潟県内20市のなかでは今回も高い方から1番目です。介護保険運営協議会の議論では第5期は高くとりすぎたのではないかなどの声があったとい

ます。私は、全体として介護保険料は若干負担が下がったものの、上部に値上げした人もいます。相



た、相

変わらず高止まりになっているとして、この議案に反対しました。

介護保険については、10日に行われた平成27年度介護保険特別会計予算審査でも質問しました。

介護報酬は平均で2・27%、過去最大の引き下げが行われ、大きな問題となっています。「介護報酬の引き下げの影響を受けて事業を縮小、廃止に追い込まれているところはないか」との私の問いに、八木高齢者支援課長は、「4月いっぱいデイサービスをやめるというケースを1件、聞いていました。他には聞いていない」と答えました。

### 特養ホーム入所指針の見直し、年度内は微妙

介護保険制度の改悪で特養ホームの入所については、要介護度が1、2の人は原則として入所申請すらできないことになりました。ただ、特例として入所できるケースを設けるといふことで、入所指針の見直し(基準づくり)が進められてきました。

私は、4月を前に、それがどこまで進んだのか質問しました。八木課長は、「年度内に県の指針が示されるかどうかは危うい。最終的に県の指針をどのタイミングで出していたのかはわかりません。最終的に市の方針を決定した

い」と答えました。今後、の動きを注視していきたいと思います。



### 要援護世帯除雪費助成、限度額等の見直し検討へ

上越市の要援護世帯除雪費助成事業は、自力で除雪が困難の一人暮らし高齢者などの要援護世帯に対し、「多雪区域」で、ひと冬につき、1世帯当たり6万5600円、「その他の区域」で4万1000円を上限に助成する制度になっています。

私は、「前回見直しが行われてからかなり経っている。高齢化、過疎化が深刻化するなかで、実



事は直接関係ありません」

の除雪費用がどれくらいかかっているかを調べて、見直しを検討すべきではないか」と質問しました。これに対して、市の栗本健康福祉部長は検討を約束してくれました。私以外の委員からも「限度額を大きく超えているところがある」などの指摘が出ました。今後の動きに注目です。(写真と記事は直接関係ありません)

【キクザキイチゲ】キンポウゲ科の多年草。漢字で、「菊咲一華」と書きます。私の地元町内の代石神社の参道に群落があります。キクザキイチゲには白色や紫色のものがありますが、このものは薄紫色です。雪消えとともに茎が伸び始め、美しい花をパツと咲かせます。まさに、「春の妖精」です。

## おかげさまで1700号になりました

私の活動レポート、今号で発行回数が1700回となりました。

第1号は1985年(昭和60)6月2日に発行しました。1000号近くまで手書きだったのですが、いまはパソコンにて作成しています。

この間、書き続けてこられたのは多くのみなさんからの励まし、支えがあったからです。心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

レポートでは、「早く、わかりやすく」を意識して書いています。多くのみなさんから読んでいただきたいと思います。私の活動をまるごと知ってもらえるように編集しています。野の花の紹介、随想などを載せているのはそのためです。

これからも書き続けていきますので、ご支援、よろしくお願いします。

橋爪 法一

# はしづめ法一の活動レポート

No.1700 2015.3.15

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第三四八回

## 酒粕

先日、珍しいものを食べさせてもらいました。酒粕の焼いたものです。

その日、私は町の中心部にあるSさん宅へおじゃましました。届けものがあつたので、事務室に入ると、テーブルの上にはアルミホイルに包まれた食べ物が載っていました。アルミホイルからはみ出た部分には焼いた跡が見えます。テーブルの脇の丸ストロブがついていましたから、この上で焼いたものなのでしょう。

「酒粕かね？」と尋ねると、Sさんは食べてみたいという私の気持ちを察したようで、すぐに酒粕を一枚持ってきてくれ、丸ストロブの上にアルミホイルを敷き、あぶりはじめました。

私が訪ねたときにはちょうど下町のKさんもいて、コーヒーを飲んでおられました。テーブルの上に置いてあつた焼いた酒粕はKさんのために焼かれたものだったので、私もコーヒーをいただき、おしゃべりの仲間にさせてもらいました。

コーヒーを飲み始めて一分も経たないうちに、ストロブの上の酒粕が気になったので、上にかぶせたアルミホイルをそつとめくってみると、ぷっくりふくらみ始め、薄茶色の焦げたところも出始めました。「こういうのがうまいんだよね」と言うと、Sさんはアルミホイルをもう一枚持ってきて、酒粕の上にかぶせ、さつとひっくり返しました。ほんの一瞬の出来事だったので、ひっくり返し方があまりにも見事なので感心してしまいました。

酒粕はお焦げがついて、とてもいい色になりました。懐かしい香りがほんのりとします。端っこの方を指先でつまみとり、口に入れてみました。うん、これこれ、昔から知っているいい味です。Sさんは、私の顔を見ながら、「そうやってちよこんちよこんと食べ始めると、こたえさんねくて、やめられなくなるんだよね」と言いました。

焼きあがつた酒粕は、さあ、食べてくださいと言った感じでアルミホイルに包んだままテーブルの上に置かれました。でも、二口か三口ほど食べたところで、私は止めました。何となく顔が赤らんできたように感じたからです。せつかく焼いてもらったのに申し訳ないと思いましたが、千切って食べ続けていけば、飲酒と同じ状況となり、車に乗って帰られなくなるのは目に見えていましたから、どうしようもありません。

酒粕の方は食べるのを抑えたのですが、丸ストロブのそばで話ははずみませんでした。今冬は、平場では一二月にまとまった雪が降ったものの、その後はたいしたことがない例年よりも早く雪が消えました。Sさんは、雪が少なかつたわりに畑のものをいじめる天気だったと語りました。畑にある五月菜が全滅してしまつたというのです。Kさんの畑でも駄目になったといひます。Sさんは五月菜の代わりに野沢菜を大事にして、春の食べ物にしようとしているということでした。こういう話は初めて聞きました。

Sさんが出稼ぎに出たことがあるという話も興味深かったです。出稼ぎは男性だけでなく、女性も出る人がいたんですね。Sさんは伊勢神宮へあげる酒を造っているある酒屋さんへひと冬だけ行つたことがあるのだそうです。これも知りませんでした。

かつて、酒粕は出稼ぎから帰ってくる人のお土産のひとつでした。わが家では父が酒屋から持ち帰る酒粕を楽しみにしていました。酒粕を食べれば、子どものときも赤くなつたと思うのですが、なぜか赤くなつたことの記憶はありません。記憶に残っているのは、酒粕を食べられるようになる、父と一緒に暮らせる春がやってきたことです。

## 新年度新規事業で 農業と福祉の連携

上越市の新年度予算では注目すべき新事業がいくつかあります。そのひとつは農福連携障害者就労支援モデル事業です。

これは、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用して、農業分野での障害者の就労機会の拡大を図っていこうというものです。

約200の農家、農業組織について障害者の就労についてのニーズ調査を行うとともに、障害者の自立を支援する事業所で組織している「上越ワーキングネットワーク」で作業難易度を数値にして示せないかなどを検討してもらうとのことです。栗本健康福祉部長によると、今回の交付金が出る前から、この取り組みについて庁内で検討してきたそうです。農業と福祉を結んだ事業はめずらしいですが、新しい試みとしてぜひ成功させたいものです。

約200の農家、農業組織について障害者の就労についてのニーズ調査を行うとともに、障害者の自立を支援する事業所で組織している

る「上越ワーキングネットワーク」で作業難易度を数値にして示せないかなどを検討してもらうとのことです。栗本健康福祉部長によると、今回の交付金が出る前から、この取り組みについて庁内で検討してきたそうです。農業と福祉を結んだ事業はめずらしいですが、新しい試みとしてぜひ成功させたいものです。

## 上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月4日(水)	3月11日(水)
上越南消防署	0.046	0.040
上越北消防署	0.040	0.057
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.060	0.053
頸南消防署	0.050	0.053
東頸消防署	0.040	0.037
高士分遣所	0.040	0.047
名立分遣所	0.053	0.050

## 市内の各中学校で卒業式挙

今月の5日、6日と市内の各中学校で卒業式が行われました。

私は地元の吉川中学校の卒業式に参加してきました。

卒業生は40人。このうち10人ほど知っています。県植樹祭と一緒に植樹をしたN君は坊主頭から髪の毛が長くなって、大きく成長していました。新聞配達をしていた関係で小さな時から知っている生徒が何人かいました。また、中学時代にお父さんを亡くした生徒さんも。みなさん、お

めでとうございました。裏田校長先生も今回で退職とのこと。

お疲れさまでした。

